

昭和期放送メディア論

女性向け教養番組における「花」の系譜

昭和期の女性向け教養番組における

「花」を主題とする講座

一覧表

ラジオ草創期の女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1925年3月22日～1937年7月6日¹

一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

『放送枠』(放送時間帯²)

放送波(第二放送開始により複数波となって後)は第一放送

放送年度	放送年月日	副題	出演者 ³	講義回数
『家庭講座』(午前9時40分～10時50分)				
1925年度	1925年 11月2日～7日	盛花講習	工藤光洲	6
	12月21日・22日 ⁴	お正月向きの投入	久野連峰	2
『家庭講座』(午前10時40分～午後0時10分)				
1926年度	1926年 2月19日・20日	おひなさまへ供へる花	大妻こたか	2
	1926年 5月3日	葉菖蒲と蓬の投入	岡田廣山	1
『家庭講座』(午前10時45分～午後0時10分)				
1926年度	1926年 10月15日	菊の盛花	岡田廣山	1
	12月20日 ⁵	松竹梅の床飾り	小島泰次郎	1
1927年度	1927年 4月9日	櫻花の活け方に就いて	岡田廣山	1
	10月24日～12月26日 ⁶	投入花の手ほどき	岡田廣山	10
1928年度	1928年 5月4日	菖蒲の盛花および瓶花について	工藤光洲	1
『家庭講座』(午前10時40分～正午)				
1928年度	1928年 9月10日 ⁷	秋草の盛花	小島松影軒	1
	11月2日	御大典奉祝記念 黄白菊花の盛花	勅使河原蒼風	1

	12月27日	南天と水仙の盛花	岡田廣山	1
	1929年 2月13日 ⁸	日常生活と挿花	勅使河原蒼風	1
1929年度	1929年 7月13日	活花について	小島專甫	1
	10月10日	晩秋の尾花の投入	岡田 ^{ママ} 廣山	1
	11月11日～12月24日 ⁹	誰にでも出来る投入花と盛花	勅使河原蒼風	7

『家庭講座』(午前10時30分～正午)

1930年度	1930年 7月1日～7月3日	華道と室内装飾	小島專甫	3
	10月27日・28日	日本花道美術史の概観	重森三玲	2
	12月26日	松の盛花	岡田廣山	1
	1931年 2月18日	二月の花と盆畫盆石(一) ¹⁰ 盛花、投入花、一輪挿のお話	小島泰次郎	1
	3月2日	雛節句の盛花と投入花	勅使河原蒼風	1
1931年度	1931年 4月1日	四月の盆花 —缺一丁あれば誰方にも出来る—	山田清雅	1
	5月1日	五月の花「端午の節句と菖蒲」	岸部素堂	1
	6月1日	六月の花	小島專甫	1
	6月20日	生花様式について	齋藤巢潮	1
	6月30日	七月の花(畫顔と朝顔)	岡田廣山	1
	7月21日	八月の花「投入盛花の涼味」	勅使河原蒼風	1
	9月14日	九月の花「秋草挿法の秘訣」	安達潮花	1
	10月1日	「十月の花」 挿花の道の紅葉に就いて	小島泰次郎	1
	11月2日	十一月の花 菊の投入花について	久野連峰	1

	12月1日	十二月の花	平一鶯 ¹¹	1
	1932年 2月1日	活花の家庭化	山田清雅	1
	2月26日	桃と菜の花の活け方に就て	岡田廣山	1
1932年度	1932年 4月26日	活花を習ふ方の心得問答	(問)廣山社中 A・B・C (答)岡田廣山	1
『家庭講座』(午後2時—午後3時40分)				
	1932年 7月8日	儀式や集會の活花の配合に就て	山田清雅	1
『家庭講座』(午前10時30分—正午)				
	1932年 7月13日	お盆に活ける活花	小島專甫	1
『家庭講座』(午後2時—午後3時40分)				
	1932年 11月14日	挿花の藝術美とは 「小菊やコスモスでまつ試作」	勅使河原蒼風	1
『家庭講座』(午前10時30分—正午)				
	1932年 12月24日	どなたにも活けられる お正月花の活け方	押川如水	1
1933年度	1933年 4月13日	此頃咲く花の活け方	村山是心庵	1
	6月22日	水草の生方及花菖蒲の投入	小島專甫	1
	7月27日・29日	四季の杜若の生花に就てのお話	岡田廣山	2
『婦人講座』(午後2時—午後3時40分)				
	1933年 9月1日・2日	いけばな新しい秘訣十講	勅使河原蒼風	2
『家庭講座』(午前10時30分—正午)				
	1933年 9月16日	葉蘭の活けかた	小島泰次郎	1
	11月27日 ¹²	花道を通して女子教育に及ぶ	新井貞里齋	1

	1934 年				
	1 月 17 日 ¹³	一月のいけばな	勅使河原蒼風	1	
	2 月 6 日	盛花の起源及び生方	東山松雪	1	
『家庭婦人講座』(午後 2 時—午後 3 時 40 分)					
1934 年度	1934 年	現代のいけ花	岡田廣山	1	
	4 月 23 日	(新たに入門する人の爲めに)	勅使河原蒼風		
『家庭婦人講座』(午前 10 時 35 分—正午)					
	1934 年				
	4 月 30 日	端午のお節句の縁起と生花	小島専甫	1	
	6 月 8 日	お花をお活けになる心得	前田静水	1	
	7 月 6 日	七月の盛花投入	小島泰次郎	1	
『家庭講座』(午前 10 時 30 分—正午)					
	1934 年				
	12 月 26 日	歳末年始の心得(八) 初春の挿花	兒島文茂	1	
『婦人講座』(午後 2 時—午後 2 時 40 分)					
1935 年度	1935 年	聴取者二百萬突破記念週間			
	5 月 17 日・31 日・	生花と盛花 盛花	安達潮花	3	
	6 月 5 日				
『家庭講座』(午後 2 時—午後 2 時 40 分)					
	6 月 7 日～28 日 ¹⁴	生花と盛花 生花	兒島文茂	4	
『婦人の時間』(午後 2 時—午後 3 時 40 分)					
	1936 年				
	3 月 18 日	野山に咲く花を活ける話	小島専甫	1	
『婦人講座』(午後 2 時—午後 3 時 40 分) ¹⁵					
1936 年度	1936 年	夏の生活と生花	西川一草亭	1	
	7 月 18 日				
『婦人の時間』(午前 10 時 30 分—正午)					

		1936 年 8 月 20 日	初秋の草物と實物の挿花に就て	山中保之輔	1
『婦人の時間』(午後 2 時—午後 3 時 40 分)					
		1936 年 12 月 22 日	新年生花のいろゝと勅題田家雪	勅使河原蒼風	1
『婦人講座』(午前 10 時 30 分—11 時)					
1937 年度	1937 年 6 月 1 日～10 日 ¹⁶	手軽な生花 盛花他 大阪より中継		小原光雲	4
	6 月 15 日～29 日 ¹⁷	手軽な生花 實用の投入花 最終回のみ「大阪より中継」の表記あり		勅使河原蒼風	5

ラジオ戦時期および占領期の女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1937年7月7日～1952年4月28日¹⁸

一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

『放送枠』(放送時間帯) 放送波は特記以外第一放送				
放送年度	放送年月日	副題	出演者 ¹⁹	講義回数
『家庭講座』(午後2時30分～3時10分)				
1937年度	1938年 2月2日	春浅いこのごろのいけ花	勅使河原蒼風	1
『婦人の時間』(午前10時20分～10時40分)				
1938年度	1938年 6月13日	野の花の活け方 (大阪より中継)	中山文甫	1
	8月20日	初秋の生花を語る	安達潮花	1
『婦人の時間』(午後3時～3時20分)全国放送 ²⁰				
1939年度	1939年 7月3日	野の花の水揚げと活け方	勅使河原蒼風	1
『家庭婦人の時間』(午後1時～2時)都市放送 ²¹				
1940年度	1940年 5月7日～10日 ²²	初夏のいけばな	勅使河原蒼風	4
『家庭婦人の時間』(午前10時20分～10時40分)全国放送				
1941年度	1941年 4月17日～19日	春の生花 ²³	有川ひさえ	3
『戦時家庭の時間』(午前9時～10時)レコード演奏含む				
1942年度	1942年 5月22日	働く人と活け花	木田光洋	1
(1943年度～47年度は放送無し)				
『主婦日記』(午前9時15分～9時30分)				

1948 年度	1948 年 9 月 15 日	野の花を主とした秋の活花	松内八重子 ²⁴	1
	12 月 30 日	正月の活け花	松内八重子 勅使河原蒼風 (提供)	1
	1949 年 3 月 3 日	春の活花	松内八重子 勅使河原蒼風 (提供)	1
『婦人の時間』(午後 1 時～2 時)				
	1949 年 3 月 24 日	華道について	西堀一三	1
(1949 年度～1950 年度は放送無し)				
『女性教室』(午前 10 時 30 分～11 時)第二放送				
1951 年度	1951 年 8 月 2 日～30 日 ²⁵	花のこころ	勅使河原蒼風 ²⁶ (提供) 最終回はインタビュー	13
(1952 年度は放送無し)				

ラジオからテレビへの転換期のラジオ女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1952年4月28日～1965年4月3日

一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

『放送枠』(放送時間帯) 放送波は第一放送

放送年度	放送年月日	副題	出演者 ²⁷	講義回数
------	-------	----	-------------------	------

(1952年度～53年度は放送無し)

『女性教室』(午後2時30分～2時45分)²⁸

1954年度	1955年 1月4日～1月31日	暮しを豊かにするいけ花 生花入門他	勅使河原蒼風	20
--------	---------------------	----------------------	--------	----

(1955年度～56年度は放送無し)

『女性教室』(午後2時45分～3時)²⁹

1957年度	1957年 4月1日～4月12日	いけばな—いけばなについて他	小原豊雲	10
	4月15日～4月30日 ³⁰	いけばな 池坊いけばなについて	池坊専永	1 ³¹
		いけばな 池坊いけばなの基本他	石山文恵	10 ³²
1958年 1月6日～1月24日	生花と室内装飾—盛花の基礎他	勅使河原蒼風 勅使河原霞 ³³	13 2	

(1958年度は放送無し)

『女性教室』(午後2時5分～2時20分)

1959年度	1960年 1月4日～1月15日	いけばな—いけばなについて他	小原豊雲	10
	1月18日～1月29日	いけばな—やさしい盛花他	勅使河原和風	10

(1960年度は放送無し)

『女性教室』(午前9時30分～9時45分)³⁴

1961年度	1961年 10月2日～10月7日	いけばなと俳句 —花をいけるために—他	池坊専永	6
	10月9日～10月16日	いけばなと俳句 —秋の花をいける前に—他	小原豊雲	7

10月17日～10月23日	いけばなと俳句 —花型の基本—他	勅使河原和風	6
---------------	---------------------	--------	---

10月31日	いけばなと俳句 —質問に答えて—	勅使河原和風	1
--------	---------------------	--------	---

(1962年度～63年度は放送無し)

『女性教室』(午前9時15分～9時45分)³⁵

1964年度	1964年	室内装飾	大野典子	5
	12月25日～12月30日	—暮らしの中のいけばな—他		

ラジオからテレビへの転換期のテレビ女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1952年4月28日～1965年4月3日³⁶

一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

『放送枠』(放送時間帯) 放送波は総合テレビ

放送年度	放送年月日	副題	出演者	講義回数
------	-------	----	-----	------

テレビ放送開始は1953年2月1日(1952年度)から

『ホーム・ライブラリー』(午後1時15分～1時30分)

1952年度	1953年 3月26日～27日	テレビ生花教室	小原豊雲	2
1953年度	1953年 6月17日～19日	六月の生花(水仙・山百合)	安達潮花	3
	7月8日～9日	夏のお花 (グラジオラスのいけ方・ダリヤのいけ方)	池田理英	2
	8月5日・7日	夏のお花(1)水盤の花(2)コンポート	藤原幽竹	2
	10月7日	十月の生花	押川如水	1
	11月4日	季節のお花	藤原幽竹	1
	1954年 1月5日	新春の生花	安達潮花	1
	2月8日	春の生花 —梅二題—	押川如水	1
1954年度	3月2日	三月の生花 お節句の日に	勅使河原霞 ³⁷	1
	1954年 6月3日	季節の生花	小原豊雲	1

『ホーム・ライブラリー』(午後1時20分～1時40分)

	7月2日	七月のお花	藤原幽竹	1
	9月8日	秋のいけ花	未生院翁甫	1

10月1日	秋のいけ花 —菊—	押川如水	1
11月12日	季節のいけ花 菊と柿	池田理英	1
1955年 1月7日	新春のいけ花	臼井桂鳳	1

『ホーム・ライブラリー』(午後1時-1時20分)

1955年度	1955年 5月12日	野の花を生ける	河村 ^{ママ} 万葉庵	1
	7月21日	夏の生花	小立千蓉	1
	9月22日	秋草を生ける	勅使河原霞	1
	10月20日	いけばなの歴史(1)	大井 ミノブ 藤原幽竹	1
	10月21日	いけばなの歴史(2)	大井ミノブ 池田理英	1
	11月3日	晩秋のいけ花	長谷川菊洲	1
	12月8日	パーティー用の生花	山中阿屋子 倉持百合子	1
	1956年 3月1日	ひなまつりの生花	安達武子 安達瞳子	1
1956年度	1956年 4月19日	生活と生花	中山文甫	1

『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分-1時)

	1956年 7月12日	部屋を涼しくする生花	大槻秀楓	1
	12月13日	きょうも美しく 「クリスマスと正月の生花」	勅使河原霞	1
	1957年 3月28日	きょうも美しく「春の花を活ける」	山中阿屋子	1
1957年度	1957年 4月5日・12日	いけばな(1)「季節の花をいける」 メモ「お花の留め方」 いけばな(2)	小原豊雲	2

		「和室の花と洋室の花」 メモ「水揚げ」		
	4月19日・26日	いけばな(3)「三種いけ」 メモ「材料の整理」 いけばな(4)「いけばなの意匠」 メモ「アクセサリーの花」	池坊専永	2
	5月8日	メモ「庭草を生ける」	山中阿屋子	1
	8月22日	きょうも美しく「涼しい生花」	勅使河原和風	1
	9月20日	女性百科「秋草をいける」	河村萬葉庵	1
	1958年 1月13日	初春に花をいける	勅使河原蒼風 持永禎子 勅使河原霞	1
『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分-0時50分)				
1958年度	1958年 10月14日	秋の生花	勅使河原霞 谷井澄子	1
	12月25日	新しい年のために(3)「室内装飾」 —生花—	安達潮花 安達瞳子	1
	1959年 1月6日	新春の生花	勅使河原蒼風 持永禎子 勅使河原霞	1
『婦人百科』(午後1時20分-1時40分)				
1959年度	1959年 7月17日	「真夏のいけ花」	小原豊雲	1
『婦人百科』(午前10時35分-11時)				
	1959年 10月8日~12月31日 ³⁸	「生花」—いけ花の使用用具—他	勅使河原霞 倉持百合子 ³⁹	13
1960年度	1960年 4月7日~5月26日 ⁴⁰	「いけばな」	池田理英	8
	6月2日~30日 ⁴¹	「いけばな」	佐藤秀抱	5
	7月7日・22日	「いけばな」	大野典子	2

『婦人百科』(午前 10 時 30 分—11 時)

	9 月 6 日～27 日 ⁴²	「いけばな」	勅使河原和風	4
	11 月 22 日・29 日	「いけばな」	小原豊雲	2
	12 月 15 日・29 日	「いけばな」 ⁴³	押川如水	2
	1961 年 3 月 7 日・14 日・28 日	「いけばな」	安達瞳子	3
1961 年度	7 月 14 日	「すずしいいけ花」	工藤和彦	1
	9 月 21 日	「秋の花をいける」	大野典子	1
	12 月 5 日～26 日 ⁴⁴	「12月のいけばな」(1)(2) —お正月の花—(1)(2)	勅使河原霞	4
	1962 年 1 月 9 日～30 日 ⁴⁵	「くらしのいけばな」 ⁴⁶	池坊専永	4
	3 月 2 日	「3月のいけばな」	勅使河原和風	1
1962 年度	1962 年 4 月 2 日～6 月 25 日 ⁴⁷	「いけばな」(1) —花型の構成— 他	勅使河原和風	13
	12 月 27 日	「お正月のいけばな」	池田理英	1
	1963 年 1 月 7 日～2 月 25 日 ⁴⁸	「いけばな」	安達瞳子	8
	3 月 4 日～25 日 ⁴⁹	「いけばな」	中山文甫 中山尚子 ⁵⁰	4
1963 年度	1963 年 11 月 5 日～12 月 31 日 ⁵¹	「いけばな」	小原豊雲	9 (7) ⁵²

『季節のいけばな』(午後 2 時 35 分—2 時 59 分)⁵³

1964 年度	1964 年 4 月 6 日～6 月 29 日	「さくら」他	勅使河原霞 木戸きみえ	13
	7 月 6 日～9 月 28 日 ⁵⁴	「たなばた」他	安達瞳子 宮坂花恵 他 ⁵⁵	11
	10 月 5 日～12 月 28 日 ⁵⁶	「花をいけるころ」他	池田理英 池田昌弘 他 ⁵⁷	9

1965 年

1 月 4 日～3 月 22 日⁵⁸

「迎春花」他

勅使河原和風 10

テレビ発展期の女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1953年2月1日～1982年3月31日

連続型講座において複数出演者がいる場合、出演者名横の括弧内数字はそれぞれの出演回数を示す。一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

1952年度～1964年度は「ラジオからテレビへの転換期」と重複するが、「テレビ発展期」を通観する便宜を図るため掲載した。ただし、重複部分の注は割愛した。

『放送枠』(放送時間帯) 放送波は総合テレビ

放送年度	放送年月日	副題	出演者	講義回数
------	-------	----	-----	------

『ホーム・ライブラリー』(午後1時15分～1時30分)

1952年度	1953年 3月26日～27日	テレビ生花教室	小原豊雲	2
1953年度	1953年 6月17日～19日	六月の生花(水仙・山百合)	安達潮花	3
	7月8日～9日	夏のお花 (グラジオラスのいけ方・ダリヤのいけ方)	池田理英	2
	8月5日・7日	夏のお花 (1)水盤の花(2)コンポート	藤原幽竹	2
	10月7日	十月の生花	押川如水	1
	11月4日	季節のお花	藤原幽竹	1
	1954年 1月5日	新春の生花	安達潮花	1
	2月8日	春の生花 —梅二題—	押川如水	1
	3月2日	三月の生花 お節句の日に	勅使河原霞	1
1954年度	1954年 6月3日	季節の生花	小原豊雲	1

『ホーム・ライブラリー』(午後1時20分～1時40分)

	7月2日	七月のお花	藤原幽竹	1
--	------	-------	------	---

9月8日	秋のいけ花	未生院翁甫	1
10月1日	秋のいけ花 —菊—	押川如水	1
11月12日	季節のいけ花 菊と柿	池田理英	1
1955年 1月7日	新春のいけ花	臼井桂鳳	1

『ホーム・ライブラリー』(午後1時-1時20分)

1955年度	1955年 5月12日	野の花を生ける	河村 ^{ママ} 万葉庵	1
	7月21日	夏の生花	小立千蓉	1
	9月22日	秋草を生ける	勅使河原霞	1
	10月20日	いけばなの歴史(1)	大井 ミノブ 藤原幽竹	1
	10月21日	いけばなの歴史(2)	大井ミノブ 池田理英	1
	11月3日	晩秋のいけ花	長谷川菊洲	1
	12月8日	パーティー用の生花	山中阿屋子 倉持百合子	1
	1956年 3月1日	ひなまつりの生花	安達武子 安達瞳子	1

1956年度	1956年 4月19日	生活と生花	中山文甫	1
--------	----------------	-------	------	---

『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分-1時)

1956年 7月12日	部屋を涼しくする生花	大槻秀楓	1
12月13日	きょうも美しく 「クリスマスと正月の生花」	勅使河原霞	1
1957年 3月28日	きょうも美しく「春の花を活ける」	山中阿屋子	1

	1957 年	いけばな(1)「季節の花をいける」 メモ「お花の留め方」		
	4月5日・12日	いけばな(2) 「和室の花と洋室の花」 メモ「水揚げ」	小原豊雲	2
1957 年度	4月19日・26日	いけばな(3)「三種いけ」 メモ「材料の整理」 いけばな(4)「いけばなの意匠」 メモ「アクセサリーの花」	池坊専永	2
	5月8日	メモ「庭草を生ける」	山中阿屋子	1
	8月22日	きょうも美しく「涼しい生花」	勅使河原和風	1
	9月20日	女性百科「秋草をいける」	河村萬葉庵	1
	1958 年		勅使河原蒼風	
	1月13日	初春に花をいける	持永禎子	1
			勅使河原霞	
『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分-0時50分)				
	1958 年		勅使河原霞	
	10月14日	秋の生花	谷井澄子	1
1958 年度	12月25日	新しい年のために(3)「室内装飾」 —生花—	安達潮花 安達瞳子	1
	1959 年		勅使河原蒼風	
	1月6日	新春の生花	持永禎子	1
			勅使河原霞	
『婦人百科』(午後1時20分-1時40分)				
1959 年度	1959 年		小原豊雲	
	7月17日	「真夏のいけ花」		1
『婦人百科』(午前10時35分-11時)				
	1959 年		勅使河原霞	
	10月8日~12月31日	「生花」—いけ花の使用用具—他	倉持百合子	13
1960 年度	1960 年			
	4月7日~5月26日	「いけばな」	池田理英	8

	6月2日～30日	「いけばな」	佐藤秀抱	5
	7月7日・22日	「いけばな」	大野典子	2
『婦人百科』(午前10時30分～11時)				
	9月6日～27日	「いけばな」	勅使河原和風	4
	11月22日・29日	「いけばな」	小原豊雲	2
	12月15日・29日	「いけばな」	押川如水	2
	1961年 3月7日・14日・28日	「いけばな」	安達瞳子	3
1961年度	7月14日	「すずしいいけ花」	工藤和彦	1
	9月21日	「秋の花をいける」	大野典子	1
	12月5日～26日	「12月のいけばな」(1)(2) —お正月の花—(1)(2)	勅使河原霞	4
	1962年 1月9日～30日	「くらしのいけばな」	池坊専永	4
	3月2日	「3月のいけばな」	勅使河原和風	1
1962年度	1962年 4月2日～6月25日	「いけばな」(1) —花型の構成— 他	勅使河原和風	13
	12月27日	「お正月のいけばな」	池田理英	1
	1963年 1月7日～2月25日	「いけばな」	安達瞳子	8
	3月4日～25日	「いけばな」	中山文甫 中山尚子	4
1963年度	1963年 11月5日～12月31日	「いけばな」	小原豊雲	9 (7)
『季節のいけばな』(午後2時35分～3時)				
1964年度	1964年 4月6日～6月29日	「さくら」他	勅使河原霞 木戸きみえ	13
	7月6日～9月28日	「たなばた」他	安達瞳子 宮坂花恵 他	11

	10月5日～12月28日	「花をいけるころ」他	池田理英 池田昌弘 他	9
	1965年 1月4日～3月22日	「迎春花」他	勅使河原和風	10

『午後のひととき 季節のいけばな』(午後1時35分～2時29分⁵⁹)

1965年度	1965年 4月5日～6月28日	—フリーズアをいける—他	中山尚子	12
	7月12日～9月27日 ⁶⁰	—秋草をいける—他	桑原専溪	10
	10月4日～12月27日	—仲秋をいける—他	小原豊雲	12
	1966年 1月10日～3月14日 ⁶¹	—現代生花—(柳をいける)他	前田華風(9) 池坊専永(1) ⁶²	9
	1966年1月11日	「春をいける」	勅使河原蒼風 池田理英 早川尚洞 五島泰雲 金子憲璋	1

『趣味のコーナー いけばな』(午前11時～11時20分⁶³)

1966年度	1966年 4月4日～5月30日	—盛り花—他	勅使河原霞 ⁶⁴	9
	6月6日～7月25日	—涼しさをいける—他	吉村華泉	8
	8月1日～9月26日	—風をいける—他	早川尚洞	9
	10月3日～12月26日	—菊に寄せて—他	西阪慶美	12
	1967年 1月9日～3月27日 ⁶⁵	—松をいける—他	土本清甫	11

『婦人百科』(午前10時30分～10時59分⁶⁶)

1967年度	1967年 4月3日～6月26日	「いけばな」—さくら—他	小原豊雲	13
	7月3日～9月25日 ⁶⁷	「いけばな」—水辺の趣き—他	勅使河原和風	12
	10月2日～12月25日 ⁶⁸	「いけばな」—大和路—他	肥原康甫	11

	1968年 1月8日～3月25日 ⁶⁹	「いけばな」—自然をいける—他	辻井博州(11) 小原豊雲(1) ⁷⁰	11
1968年度	1968年 4月1日～5月27日 ⁷¹	いけばな「ミモザ」他	勅使河原霞	8
	6月3日～7月29日 ⁷²	いけばな「あじさい」他	安達瞳子	8
	8月5日～9月30日 ⁷³	いけばな「海辺の花」他	中山文甫	7
	10月7日～11月25日 ⁷⁴	いけばな「ダリヤ」他	池田昌弘	7
	12月2日～ 1969年1月27日	いけばな「クリスマスに生ける」他	池坊専永	9
	2月10日～3月31日	いけばな「梅」他	桑原素子	8
1969年度	1969年 4月7日～5月26日 ⁷⁵	いけばな「歌によせる花」他	小原豊雲	7
	8月4日～9月22日 ⁷⁶	いけばな「秋の実をいける」他	宇田土風	7
	9月29日	いけばな「ばらをいける」	勅使河原霞	1
	12月1日～ 1970年1月26日	いけばな「花材からの発想」	吉村華泉	9
1970年度	1970年 10月5日～11月30日	いけばな「基礎—実ものをいける— 他	勅使河原和風	9
	12月7日～ 1971年1月25日	いけばな「菊」他	池田理英	8
	2月1日～3月29日	いけばな「絵画に学ぶ」他	小原豊雲	9
1971年度	1971年 9月13日～10月28日 ⁷⁷	いけばな「基礎—3本の役枝—他	勅使河原和風	7
	11月8日～12月27日	いけばな「モチーフをいける」	大津隆月	8
1972年度	1973年 1月9日～3月27日 ⁷⁸	いけばな「松をいける」他	芦田武久	11
1973年度	1973年 10月2日～11月27日	いけばな—水盤に—他	吉村華泉	9
1974年度	1974年 4月3日	「今月のいけばな」	池田昌弘	1

	5月1日	「今月のいけばな」	勝村翠華	1
	6月5日	「今月のいけばな」	大津隆月	1
	7月3日	「今月のいけばな」	池坊専永	1
	8月7日	「今月のいけばな」	中山尚子	1
	9月4日	「今月のいけばな」	早川尚洞	1
	10月2日	「今月のいけばな」	筒井紫雲	1
	11月6日	「今月のいけばな」	芦田武久	1
	12月4日	「今月のいけばな」	林瑛	1
	1975年 1月8日	「今月のいけばな」	小原豊雲	1
	2月5日	「今月のいけばな」	植松雅房	1
	3月6日	「今月のいけばな」	手嶋千俊	1
1975年度	1975年 5月26日	ヤング・ミセス・シリーズ 「くらしのいけばな」	道向達子	1
	10月2日～12月25日 ⁷⁹	いけばな「ななかまどをいける」他	手嶋千俊	12
	1976年 1月5日	ヤング・ミセス・シリーズ 「春のいけばな」	安達瞳子	1
1976年度	1976年 4月7日～6月30日 ⁸⁰	「いけばな」—旅によせて—他	小原豊雲	12
	1977年 1月5日～3月30日 ⁸¹	「いけばなの基礎」—桃をいける— 他	勅使河原霞	12
1977年度	1977年 4月7日～5月26日 ⁸²	「いけばな」—パンジーをいける— 他	池坊専永	7
	9月1日～10月27日 ⁸³	「いけばな」—紅葉をいける—他	筒井紫雲	8
1978年度	1978年 4月5日～26日	「いけばな」—しだれ柳をいける— 他	植松雅房	4
	7月5日～26日	「いけばな」—ゆりをいける—他	中山尚子	4

	10月4日～11月1日 ⁸⁴	「いけばな」—コスモスをいける—他	吉村華泉	4
	1979年 1月10日～2月7日 ⁸⁵	「いけばな」—椿をいける—他	宇田士風	4
1979年度	1979年 4月4日～25日	「いけばな」—雪柳をいける—他	林瑛	4
	7月4日～25日 ⁸⁶	「いけばな」—ぎぼうしをいける—他	早川尚洞	4
	10月3日～31日 ⁸⁷	「いけばな」—秋草をいける—他	小原豊雲	4
	1980年 1月9日～2月6日 ⁸⁸	「いけばな」—フリージアをいける— 他	肥原良樹	4
1980年度	1980年 4月7日	「4月のいけばな」	池坊専永	1
	5月9日	「 ^{ママ} 五月のいけばな」	佐伯一甫	1
	6月2日	「6月のいけばな」	安達瞳子	1
	7月7日	「7月のいけばな」	手嶋千俊	1
	8月4日	「8月のいけばな」	千羽理芳	1
	9月1日	「9月のいけばな」	芦田一馬	1
	10月6日	「10月のいけばな」	筒井紫雲	1
	11月7日	「11月のいけばな」	大津隆月	1
	12月1日	「12月のいけばな」	辻井博州	1
	1981年 1月5日	「1月のいけばな」	早川尚洞	1
	2月2日	「2月のいけばな」	諸泉祐陽	1
	3月2日	「3月のいけばな」	池田昌弘	1
1981年度	1981年 4月6日	「 ^{ママ} 四月のいけばな」	林瑛	1
	5月8日	「5月のいけばな」	粕谷明光	1

6月1日	「6月のいけばな」	中山尚子	1
7月6日	「7月のいけばな」	西阪専慶	1
8月3日	「8月のいけばな」	吉村京子	1
9月7日	「9月のいけばな」	西村雲華	1
10月9日	「10月のいけばな」	植松雅房	1
11月2日	「11月のいけばな」	大野理滯	1
12月7日	「12月のいけばな」	松本司頌	1
1982年 1月4日	「1月のいけばな」	小原豊雲	1
2月5日 ⁸⁹	「2月のいけばな」	勅使河原和風	1
3月1日	「3月のいけばな」	勝村翠華	1

テレビ発展期の女性向け教養番組における「茶」を主題とする講座の放送

1953年2月1日～1982年3月31日⁹⁰

連続型講座において複数出演者がいる場合、出演者名横の括弧内数字はそれぞれの出演回数を示す。一連の放送において一人の出演者が複数回の講義をおこなっている場合は、副題はそのうちの一つのみを示した。

『放送枠』(放送時間帯) 放送波は総合テレビ

放送年度	放送年月日	副題	出演者	講義回数
------	-------	----	-----	------

『ホーム・ライブラリー』(午後1時15分～1時30分)

1952年度	1953年 2月26日～28日	テレビ茶道教室—お茶と作法—他	山村宗謙 ⁹¹	3
1953年度	1953年 6月2日	お茶の心得	山村宗謙	1
	1954年 2月25日	茶道物語 —利久のおもかげ—	桑田忠親	1

『ホーム・ライブラリー』(午後1時20分～1時40分)

1954年度	1954年 8月31日	茶道教室 夏の煎茶	泉谷松風庵	1
--------	----------------	-----------	-------	---

『ホーム・ライブラリー』(午後1時～1時20分)

1955年度	1956年 1月5日	煎茶の話	中村如遊 他	1
--------	---------------	------	-----------	---

『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分～1時)

1956年度	1956年 10月18日	やさしいお茶の作法	千宗守	1
--------	-----------------	-----------	-----	---

1957年度

(1957・58年は放送無し)

『ホーム・ライブラリー』(午後0時35分～0時50分)

1958年度	1959年 1月14日	お茶をたのしむ	塩月彌栄子 他	1
--------	----------------	---------	------------	---

『婦人百科』(午前 10 時 35 分—11 時)

1959 年度	1959 年 12 月 25 日	煎茶・番茶の入れ方	塩月弥栄子 大西紀代美 他 ⁹²	1
	1960 年 1 月 7 日～3 月 31 日 ⁹³	お茶—基本動作— 他	塩月弥栄子 他 ⁹⁴	13

『婦人百科』(午前 10 時 30 分—11 時)

1960 年度	1961 年 1 月 10 日～2 月 2 日 ⁹⁵	お茶	千宗興	4
	2 月 7 日～2 月 28 日 ⁹⁶	お茶	塩月弥栄子 他 ⁹⁷	4
1961 年度	1962 年 1 月 4 日	初釜のここち	塩月弥栄子 他 ⁹⁸	1
1962 年度	1962 年 10 月 3 日～24 日 ⁹⁹	「お茶をたのしく」 —おうすをいただく—	千宗興	4
	(1963 年は放送無し)			
1963 年度	1964 年 1 月 7 日～3 月 31 日 ¹⁰⁰	初歩の茶道	久田宗也	13

『お茶のすべて』(午後 2 時 35 分—2 時 59 分)¹⁰¹

1964 年度	1964 年 4 月 7 日～10 月 27 日 ¹⁰²	「けいこを始める前に」「基本の動作」 他	千宗興(19) 井口海仙 (6) ¹⁰³	23
	11 月 10 日～12 月 29 日 ¹⁰⁴	「炉の準備」「炉薄茶点前」他	千宗室	7
	1965 年 1 月 5 日～3 月 23 日	「新年に茶を語る」「懐石」他	井口海仙 (6) ¹⁰⁵ 千宗室(8)	12

『午後のひととき 茶道講座』(午後 1 時 35 分—2 時 29 分)¹⁰⁶

1965 年度	1965 年 4 月 6 日～ 1966 年 3 月 22 日	「炉薄茶点前」「濃茶点前」他	久田宗也 (45) 千宗左(3) ¹⁰⁷	45
---------	------------------------------------	----------------	---------------------------------------	----

『趣味のコーナー お茶』(午前 11 時—11 時 20 分)¹⁰⁸

1966 年度	1966 年	「点前の構成」「風炉点前」他	千宗守	13
	4 月 5 日～6 月 28 日			
	7 月 5 日～9 月 27 日	「煎茶」	田中青坡	13
	10 月 4 日～	「炉薄茶点前」「炉濃茶点前」他	千宗室(17)	
	1967 年 3 月 28 日 ¹⁰⁹		井口海仙 (8) ¹¹⁰	23
『婦人百科』(午前 10 時 30 分～10 時 59 分 ¹¹¹)				
1967 年度	1967 年	「茶の湯」—風炉薄茶点前—他	久田宗也	
	4 月 4 日～9 月 26 日 ¹¹²		(25)	25
		10 月 3 日～12 月 26 日	「煎茶」	渡辺琢山
	1968 年	「茶の湯」—炉濃茶点前—他	藪内紹智	11
	1 月 9 日～3 月 26 日 ¹¹⁴			
1968 年度	1968 年	茶の湯「炉薄茶点前」「炉濃茶点前」 他	千宗室(18)	
	4 月 2 日～		井口海仙	48
	1969 年 3 月 25 日 ¹¹⁵		(32) ¹¹⁶	
1969 年度	1969 年	茶の湯「点て方」「しまい方」他	久田宗也	
	4 月 1 日～9 月 30 日 ¹¹⁷		(26)	26
		10 月 7 日～	千宗左(2) ¹¹⁸ 千宗員(2) ¹¹⁹	
	1970 年	茶の湯「薄茶と濃茶」「濃茶点前」他	千宗守(25)	
	3 月 31 日 ¹²⁰		久田宗也	25
			(1) ¹²¹ 井口海仙 (1) ¹²²	
1970 年度	1970 年	茶の湯「薄茶点前」「濃茶点前」他	千宗室(14) ¹²⁴	
	4 月 7 日～		井口海仙	
	1971 年 3 月 30 日 ¹²³		(30)	47
			塩月弥栄子 (4) ¹²⁵	
1971 年度	1971 年	茶の湯「濃茶と薄茶」「濃茶点前」他	藪内紹智	
	4 月 6 日～9 月 28 日 ¹²⁶		(15) ¹²⁷	24
			藪内紹春 (13)	

			久田宗也 (25) 千宗左(1) ¹²⁹ 千宗員(2) ¹³⁰ 井口海仙 (1) ¹³¹ 堀内宗完 (1) ¹³² 小堀宗慶 (1) ¹³³	25
1972 年度	1972 年 4月11日～9月26日 ¹³⁴	茶の湯「薄茶棚点前」「濃茶点前」他	千宗守	24
1973 年度	1974 年 1月7日～3月25日 ¹³⁵	茶の湯「盆略点前」「濃茶」他	千宗室(5) ¹³⁶ 井口海仙(7)	11
1974 年度	1974 年 7月4日～9月26日	茶の湯「薄茶点前」「濃茶点前」他	堀内宗完 (12) 千宗員(1) ¹³⁷ 久田宗也(1) ¹³⁸ 千宗左(1) ¹³⁹	12
	1975 年 1月16日～4月3日 ¹⁴⁰	茶の湯「薄茶点前」「盆略点前」他	千宗室(5) ¹⁴¹ 井口海仙 (8) ¹⁴²	11
1975 年度	1975 年 7月3日～9月25日 ¹⁴³	茶の湯「薄茶点前」「濃茶点前」他	堀内宗完 (12) 久田宗也 (1) ¹⁴⁴ 千宗員(1) ¹⁴⁵ 千宗左(1) ¹⁴⁶	12
	1976 年 1月8日～4月1日 ¹⁴⁷	茶の湯「薄茶大棚点前」「濃茶点前」 他	堀内宗完 (11) 久田宗也 (1) ¹⁴⁸ 千宗員(3) ¹⁴⁹ 千宗左(1) ¹⁵⁰	11
1976 年度	1976 年 4月8日～10月7日 ¹⁵¹	茶の湯「薄茶」「濃茶点前」他	千宗室(8) ¹⁵² 井口海仙	21

			(10) ¹⁵³ 川島宗敏 (5) ¹⁵⁴ 塩月弥栄子 (1) ¹⁵⁵	
	10月14日～ 1977年 3月24日 ¹⁵⁶	茶の湯「薄茶」「濃茶」他	堀内宗完 (23) 久田宗也 (2) ¹⁵⁷ 千宗員(3) ¹⁵⁸	23
1977年度	1977年 6月2日～7月28日 ¹⁵⁹	茶の湯「薄茶の点て方」「濃茶の点て方」他	藪内紹智 (3) ¹⁶⁰ 藪内紹春(9)	9
	12月1日～ 1978年 2月2日 ¹⁶¹	茶の湯「点前のしくみ」「薄茶を点てる」他	千宗守	7
	2月9日～3月2日	茶の湯「初めて招かれたとき」	山田宗困	4
	3月16日～30日 ¹⁶²	茶の湯「客を迎えるころ」	小堀宗慶	4
1978年度	1978年 5月4日～7月27日	茶の湯 「薄茶を点てる」「濃茶を点てる」他	堀内宗完 (13) 久田宗也 (1) ¹⁶³ 千宗員(2) ¹⁶⁴	13
	11月2日～ 1979年 1月18日	茶の湯「薄茶を点てる」「濃茶」他	藪内紹智 (2) ¹⁶⁵ 藪内紹春 (11)	11
1979年度	1979年 5月10日～7月26日	茶の湯 「点前のしくみ」「薄茶棚点前」他	千宗守(6) ¹⁶⁶ 千宗屋(8) ¹⁶⁷ 千宗室(8) ¹⁶⁹	12
	11月1日～ 1980年 2月7日 ¹⁶⁸	茶の湯「薄茶点前」「濃茶点前」他	川島宗敏 (3) ¹⁷⁰ 永井宗圭 (1) ¹⁷¹	12
1980年度	1980年 10月2日～12月25日 ¹⁷²	茶の湯「薄茶点前」「濃茶点前」他	千宗室(10) ¹⁷³ 川島宗敏	13

			(1) ¹⁷⁴	
			金沢宗也	
			(2) ¹⁷⁵	
			久田宗也	
1981 年度	1981 年		(13)	
	5 月 7 日～7 月 30 日	茶の湯—茶会に招かれて—他	千宗左(3) ¹⁷⁶	13
			堀内宗完	
			(1) ¹⁷⁷	

テレビ変化期の女性向け教養番組における「花」を主題とする講座の放送

1982年4月1日～1993年3月31日

『婦人百科』の終了日（最終放送）は、1993年3月25日。

『放送枠』（放送時間帯）放送波は特記以外総合テレビ

放送年度	放送年月日	副題	出演者	講義回数
『婦人百科』（午前10時30分～10時59分）				
1982年度	1982年 4月5日	4月のいけばな	筒井紫雲	1
	5月10日	5月のいけばな	安達瞳子	1
	6月7日	6月のいけばな	今西玉好	1
	7月5日	7月のいけばな	岡田 ^{ママ} 広山	1
	8月2日	8月のいけばな	千羽理芳	1
	9月6日	9月のいけばな —清風瓶華—	早川尚洞	1
	10月4日	10月のいけばな —古流松藤会—	池田昌弘	1
	11月1日	11月のいけばな	手嶋千俊	1
	12月6日	12月のいけばな	梅田博宣	1
	1983年 1月10日	1月のいけばな	池坊専永	1
	2月7日 ¹⁷⁸	2月のいけばな	芦田一馬	1
	3月7日	3月のいけばな	勅使河原和風	1
1983年度	1983年 4月6日	空間をいかすつり花・かけ花	池坊専永	1
	5月4日	棚の上の小品花	新藤三枝	1
	6月1日	テーブルにいける花	肥原俊樹	1
	7月6日	ガラスの器にいける	林瑛	1

	9月7日	秋草をかごにいける	川岸香園	1
	10月5日	動きを楽しむいけばな	松本司頌	1
	11月2日	壁面にいける花	諸泉陽子	1
	12月21日	正月のいけばな	吉村華泉	1
	1984年 1月4日	正月の花をいけなおす	西阪専慶	1
	2月1日	温室花を小品に — —葉式いけ花—	粕谷春水	1
	3月14日 ¹⁷⁹	春の色をいける	千羽理芳	1
1984年度	1984年 4月4日	木花を華やかにいける	手嶋千俊	1
	5月2日	葉をいける	池田昌弘	1
	6月6日	涼しさをいける	筒井紫雲	1
	7月4日	夏草をいける	山根由美	1
	9月5日	秋草をいける	植松雅房	1
	10月3日	一種でいける秋の草花	下田尚利	1
	11月7日	枯れ物をいける	芦田一馬	1
	12月5日	松をいける	桜居博芳	1
	1985年 1月9日	いけ花 —正月の花をいけ直す—	桑原仙溪	1
	2月6日 ¹⁸⁰	いけ花 —花木ものをいける—	吉村京子	1
	3月6日	いけ花 —春の芽をいける—	堀口昌洸	1
1985年度	1985年 4月8日	いけ花 —春の彩をいける—	池坊専永	1
	5月20日	竹といける初夏の花 —みささぎ流—	片桐右弼	1

	6月10日	いけ花 —花器の質感をいかす—	勅使河原宏	1
	7月8日	涼をいける	西阪専慶	1
	8月5日	テーブルを飾る花	道上小枝	1
	9月9日	いけ花 小さい秋をいける	早川研一	1
	10月14日	いけ花・秋の実をいける —専敬流—	林瑛, 林順子	1
	11月18日	晩秋の草色を楽しむ	千羽理芳	1
	12月25日	いけ花 —迎春の花をいける—	肥原碩甫	1
	1986年 1月13日	葉の魅力をいける —花芸安達流—	安達瞳子	1
	2月10日	身近な器に春をいける	中山尚子	1
	3月10日	芽と草花を楽しむ	(記載無)	1
1986年度	1986年 4月14日	清楚にいける白い花	辻井博州	1
	5月19日	新緑をいける	手嶋千俊	1
	6月9日	水面を広くいける	粕谷明弘	1
	7月14日	ガラスにいける夏の花	勝村翠華	1
	8月25日	小さな器に飾る花	山岸由美子	1
	9月8日	秋草をいける	山根由美	1
	10月13日	秋色を二種でいける	池田昌弘	1
	11月17日	みのりの秋をいける	川岸香園	1
	12月22日	正月の花をいける	桑原素子	1
	1987年 1月12日	冬に見つけた色をいける	下田尚利	1

	2月9日	小さな花のインテリア	大沢節子	1
	3月16日	春の一輪を生かす	芦田一馬	1
1987年度	1987年	春の光にいける	小原夏樹	1
	4月13日 ¹⁸¹			
	5月18日	花むらをいける	諸泉祐陽	1
	6月15日	涼しさをいける	池坊専永	1
	7月13日	“場”を生かす花	勅使河原宏	1
	8月31日	水中花をいける	松本司頌	1
	9月21日	秋の訪れをいける	吉村京子	1
	10月5日	菊をいける	肥原俊樹	1
	11月2日	ゆく秋をいける	早川研一	1
	12月21日	出合いを遊ぶ花	成瀬香梅	1
	1988年	正月花を春の装いに	植松雅房	1
	1月11日			
	2月15日	葉の表情をいける	千羽理芳	1
	3月14日 ¹⁸²	春の草花でテーブルコーディネート	山岸由美子	1
1988年度	1988年	春らんまんをいける	西阪専慶	1
	4月18日			
	5月2日	緑を主役にいける	筒井邦子	1
	6月20日	初夏の彩りをいける	山根由美	1
	7月11日	涼風をいける	安達瞳子	1
	8月22日 ¹⁸³	家族を祝う花	縹あい	1
	9月23日 ¹⁸⁴	投げ入れ花を楽しむ	下田尚利	1
	10月17日	草花でいける秋の表情	中山景之	1

	11月21日 ¹⁸⁵	実をいける	粕谷明弘	1
	12月26日	迎春の花	辻井博州	1
	1989年 1月23日	青竹をいける	手嶋千俊	1
	2月20日 ¹⁸⁶	花器を主役に春をいける	梅田博宣	1
	3月20日	春風に舞う花	林瑛	1
1989年度	1989年 4月17日	陽光のみどりをいける	肥原碩甫	1
	5月1日	緑の風をいける	早川研一	1
	6月19日	水草をいける	笹岡 甫	1
	7月17日	夏の花をインテリアに	井上恵子	1
	8月7日	遊び心で飾る花	村山百合子	1
	9月25日	月によせていける	桑原仙溪	1
	10月16日	秋の色をいける	千羽理芳	1
	11月20日	枯れ色の秋をいける	川岸香園	1
	12月25日	迎春の松をいける	石井桓祐	1
	1990年 1月29日	早春のはずむ心をいける	芦田一馬	1
	2月26日	花木で春をいける	吉村京子	1
	3月19日	春のパーティーに飾る花	井上翠	1
1990年度	1990年 4月5日	淡色の春をいける	諸泉祐陽	1
	5月1日	薫りをいける	安達瞳子	1
	6月7日	涼しさをいける	長谷川喜洲	1

	7月5日	水を演出していける	早川研一	1
	7月19日	野の花でくらしをアート	広瀬暉子	1
	8月1日	涼をよぶ花の演出	堀江英子	1
	9月6日	秋の光をいける	松本司頌	1
	10月29日	秋のみのりをいける	堀口昌洸	1
	11月8日	身近な秋をいける	山根由美	1
	12月13日	原色の花で冬を飾る	中山尚子	1
	1991年 1月10日 ¹⁸⁷	早春の息吹をいける	粕谷明弘	1
	2月7日	観葉植物をいける	植松雅房	1
	3月7日	春の草花をいける	小原夏樹	1
1991年度	1991年 4月4日 ¹⁸⁸	春の光をいける	辻井博州	1
	5月2日	新緑を楽しむ盛り花	下田尚利	1
	6月6日	水に映える初夏の花	肥原俊樹	1
	7月4日	水辺の涼感をいける	西阪専慶	1
	8月1日	涼しさをよぶ花と緑の演出	縹あい	1
	9月5日	初秋に実りをいける	吉村華泉	1
	10月3日	秋の草花をいける	片桐悦子	1
	11月28日	晩秋の色をいける	千羽理芳	1
	12月26日	正月をいける	池坊専永	1
	1992年 1月13日	初春の風をいける	宇田土風	1
	2月6日	春のいぶきをいける	太田一孝	1

	3月16日	柳で春を生ける	林瑛	1
1992年度	1992年 6月25日	雨の風情にいける	芦田一馬	1
	9月22日	みのりをいける	桑原仙溪	1
	12月22日	正月を彩る花のハーモニー	新妻尚美	1
	1993年 1月14・21・28日 ¹⁸⁹	はじめてのあなたに ～花のこころをいける	肥原碩甫	3
	3月24日	陽春をいける	手嶋敏和	1

注

- 1 女性向け教養番組の放送枠での放送ではないが、表に掲げた以外に、「花」に関する放送として、1936年11月27日に海外放送（国外向けの放送）の『講演番組』枠で、「生花と日本人の生活」（出演者はH・H・ゴーハム夫人）がある。
- 2 この枠内で放送はされたが、実際の放送時間は、より短い可能性がある。『番組確定表』では放送枠の開始時刻のみが記されている。
- 3 司会役のアナウンサーは除く。
- 4 両日とも次の放送枠の開始時刻は10時40分。
- 5 次の放送枠の開始時刻は午後0時45分。
- 6 毎週月曜。
- 7 『番組確定表』に「1102」という書き込みあり。終了時刻と推定される。
- 8 これまで、勅使河原蒼風は、1928年11月2日に初めてラジオ放送で講義をおこない、その一年後の1929年11月から連続7回の講義をおこなったとされてきた。しかし、本研究における調査で、その二つの講義の間に、もう一つ1929年2月13日の講義があったことが明らかになった。それだけ、最初の放送の評判が良く、大澤豊子は、間を置かずに蒼風の次の講義を編成することにしたのだと推測できる。
- 9 毎週月曜。12月24日のみ火曜放送。11月18日休止。
- 10 第2回は「盆畫盆石のお話」（2月19日）。
- 11 『番組確定表』には「平野一鶯」と記されているが、当時の『ラヂオ年鑑』『年誌』には、題目「十二月の花」、放送者「平一鶯」、年月日「十二、一」と記録されており、両者は同一人物と考えられる（社団法人日本放送協會編『昭和八年ラヂオ年鑑』日本放送出版協會、1933, p.245）。
- 12 『家庭講座』の開始時刻は午前10時35分。
- 13 『家庭講座』の開始時刻は午前10時35分。
- 14 毎週金曜。
- 15 「京都より」と付記されている。
- 16 毎週火曜・木曜。
- 17 毎週火曜・木曜。
- 18 女性向け教養番組の放送枠での放送ではないが、表に掲げた以外に、「花」に関する放送として、1941年1月5日に、都市放送『特輯講座 傳統の精神』で「花技養心」（山中松愛齋）、1947年10月6日に第二放送『朝の話』で「秋の生花と生活」（長倉知楽）、1949年10月6日に第一放送『朝の訪問』で「勅使河原蒼風」（市川アナウンサー）、1949年7月10日に第二放送『趣味の時間』で「趣味の生花」（勅使河原蒼風、堀口捨巳、司会は森田たま）が、それぞれ放送されている。
- 19 アナウンサー（司会）のみの出演である『主婦日記』以外の放送枠では、司会役のアナウンサーは除く。
- 20 1939年より第一放送の呼称は全国放送と改められた。
- 21 1939年より第二放送の呼称は都市放送と改められた。1941年12月のアメリカなどとの戦争開始に伴って、都市放送は廃止され、戦後、1945年9月より

第二放送として再開された。

22 10日のみ、次の放送枠の開始時刻は1時30分。

23 19日の副題表記は「春の生け花」。

24 1948年9月の『主婦日記』について、『番組確定表』には、レギュラー出演者である松内八重子の名のみが記されており、提供者が誰であったかは不明である。

25 毎週火曜・木曜・土曜。

26 蒼風が提供した資料を代読したのが誰であったかは明らかでないが、司会の栗栖琴子だった可能性がある。

27 司会役のアナウンサーは除く。

28 毎週、土日除く平日に放送。

29 毎週、土日除く平日に放送。

30 4月29日休止。

31 4月15日出演。

32 4月16日以降出演。

33 1月22日・同23日に出演。それ以外の日は、蒼風が出演。

34 『主婦の時間』(午前9時5分-9時59分)の1コーナー。毎週、月曜から土曜まで放送。

35 毎週、月曜から土曜まで放送。

36 表に掲げた以外の放送枠での「花」に関する番組には、1953年1月10日『NHKテレビジョン実験放送番組』「生花の話」(押川如水)、1958年4月3日『生活の知恵』「生花」(北條明直、工藤和彦)、1958年10月4日『学校放送 小学校高学年美術教室』「—おもしろい生花—」(中山文甫)、1959年4月4日教育テレビ『春のテレビ・クラブ たのしい図工』「—おもしろい生花—」(藤沢典明)、1959年7月16日教育テレビ『くらしの中のいけばな』(蒲田素石,)、1959年12月24日総合テレビ『テレビ婦人の時間』「クリスマス飾る花」(大野典子)、1961年1月1日総合テレビ『初春をいける』(勅使河原蒼風、勅使河原霞)、1962年1月6日総合テレビ『みんなの職業』「お花の先生」(勅使河原霞)、1962年3月22日(木)総合テレビ『短編映画』「いけばな」、1962年5月28日総合テレビ『ポケットサイエンス』「いけ花と水あげ」、1962年12月7日総合テレビ『婦人の時間』「話題 いけばな使節 オーストラリアから帰って」(山中阿屋子ほか)、1963年1月1日総合テレビ『おめでとう みなさん』「初春をいける」(小原豊雲)、同年同日教育テレビ『花の造型』「いけ花の心」(出演者名記載なし)、1967年11月3日総合テレビ『菊薫る』(勅使河原霞)などがある。

37 『番組確定表』上の表記は「勅使河原 かすみ」。

38 毎週木曜。

39 『番組確定表』には11月12日は勅使河原霞の記載のみ。

40 毎週木曜。

41 毎週木曜。6月23日のみ午前10時45分-11時。

42 毎週火曜。

-
- 43 12月29日のみ「—お正月をいける—」の副題あり。
- 44 毎週火曜。
- 45 毎週火曜。
- 46 1月16日は「—環境をいかすいけ花—」、同30日は「—アイデアをいける—」の副題あり。
- 47 毎週月曜。
- 48 毎週月曜。
- 49 毎週月曜。
- 50 中山尚子は3月4日・11日のみに記載あり、18日・25日は中山文甫のみ。
- 51 毎週火曜。再放送午後3時—3時30分。
- 52 括弧内は再放送回数、12月10日（第6回）と12月31日（第9回）は再放送なし。
- 53 毎週月曜。
- 54 8月10日、同17日は休止。
- 55 宮坂花恵は7月27日まで、8月3日より9月7日までは小林智恵子、9月14日より28日までは皆川信子、他に9月21日に戸板康二がゲスト出演。
- 56 10月12日、同19日、11月9日、同23日は休止。
- 57 池田昌弘は10月5日、11月2日に出演、他に高田敏子（詩人）が10月26日、柳宗理（工業デザイナー）が11月30日、長岡輝子（女優）が12月21日に、それぞれゲスト出演。
- 58 1月25日、2月1日は休止。
- 59 『季節のいけばな』は、この時間帯のうちの1コーナー。原則として毎週月曜。
- 60 8月2日、同16日休止。
- 61 1月31日休止。
- 62 3月14日参加。
- 63 毎週月曜。
- 64 助手として倉持百合子が参加。
- 65 1月30日休止。
- 66 『婦人百科』の放送時間が1分減って、10時59分までとなったのは前年度の1965年4月5日から（放送開始時刻は変わらず）。午後再放送枠（2時30分—2時59分）あり。「花」を主題とする講座の放送が連続型である場合、原則として、1967年度から1971年度まで月曜、1972年度から1973年度まで火曜、1975年度および1977年度は木曜、1976年度および1978年度から1979年度まで水曜。「花」を表す名辞には、「いけばな」、「いけ花」など表記揺れがある。
- 67 8月14日休止。
- 68 12月11日休止。
- 69 2月26日休止。
- 70 3月25日参加。
- 71 4月29日休止。
- 72 7月8日休止。

-
- 73 8月12日、同19日休止。
- 74 10月28日休止。11月11日は再放送枠のみで放送。
- 75 5月5日休止。
- 76 8月11日休止。9月22日は再放送枠のみで放送。
- 77 10月28日のみ木曜に放送。
- 78 1月30日休止。
- 79 10月30日、11月6日休止。12月25日は、本放送枠で第11回、再放送枠で第12回を放送。
- 80 5月5日休止。
- 81 2月9日休止。
- 82 5月5日休止。
- 83 9月15日休止。
- 84 10月18日休止。
- 85 1月31日休止。
- 86 7月11日休止。7月18日に本放送枠で第2回、再放送枠で第3回を放送。
- 87 10月10日休止。
- 88 1月30日休止。
- 89 教育テレビで放送。
- 90 表に掲げた以外の放送枠での「茶」に関する番組には、1954年4月21日『これからの茶道』（千宗興）、1959年6月5日総合テレビ『NHK映画』「茶の湯」、1962年9月3日総合テレビ『婦人の時間』「この人この道—お茶ひとすじに—」（千宗興）、1970年9月3日総合テレビ『女性手帳』「茶の湯」、1974年5月24日教育テレビ『教師の時間』「お茶の心」（千宗室）、1980年3月6日教育テレビ『わたしたちの歴史1年（中学校社会科）』「能と茶の湯」、1982年5月24日教育テレビ『ジュニア 大全科』「伝統にチャレンジ —茶道—」（千宗室）などがある。なお、1962年10月31日から12月26日まで12月12日を除き、毎週木曜に『婦人百科』の放送枠で「お茶のたのしみ」が放送されているが、主題としてコーヒーや紅茶が含まれており、本研究での「茶」（伝統文化としての茶の湯）の範疇には納まらないことから、表には掲げていない。
- 91 2月28日は山村宗雅が参加。
- 92 1月14日葛西宗貫が参加、3月10日千宗興が参加。
- 93 毎週木曜。
- 94 1月14日葛西宗貫が参加、3月10日千宗興が参加。
- 95 毎週火曜。
- 96 毎週火曜。
- 97 2月28日千宗興が参加。
- 98 田中絹代、岡本太郎がゲスト。
- 99 毎週水曜。
- 100 毎週火曜。
- 101 毎週火曜。
- 102 5月5日、6月9日、同23日、8月11日、同18日、10月13日、同20

日休止。

103 4月7日～9月15日千宗興（うち5月26日・6月2日は井口海仙参加）、9月22日～10月27日井口海仙。

104 11月25日休止。

105 1月5日～26日井口海仙、2月2日～3月23日千宗室（うち2月23日・3月23日は井口海仙参加）。

106 「茶道講座」は、この時間帯のうちの1コーナー。毎週火曜。

107 4月26日・1966年1月4日・2月22日千宗左が参加。

108 毎週火曜。

109 12月20日、1月3日、3月21日休止。

110 10月4日～12月6日・1967年2月7日～3月28日千宗室（うち10月4日・1967年2月28日は井口海仙参加）、1967年12月13日～1月31日井口海仙。

111 午後再放送枠（2時30分～2時59分）あり。「茶」を主題とする講座の放送が連続型である場合、原則として、1967年度から1972年度まで火曜、1973年度月曜、1974年度から1981年度まで木曜。

112 8月15日休止。

113 4月4日・9月12日千宗左が参加。

114 2月6日は再放送枠のみで放送。3月19日休止。

115 8月13日、同20日、2月4日、同11日休止。

116 4月2日～16日・5月7日・28日・7月2日・8月6日～9月10日・10月15日・29日・11月5日・1969年1月7日・2月18日・3月4日・18日・25日が千宗室（うち10月29日・1969年3月25日は井口海仙が参加）、それ以外は井口海仙。

117 8月12日休止。

118 4月1日・9月30日千宗左が参加。

119 5月6日・6月17日千宗員が参加。

120 1月13日は再放送枠のみで放送。3月24日休止。3月31日は午前10時35分～11時5分に放送。

121 1970年1月6日久田宗也が参加。

122 1970年3月31日井口海仙が参加。

123 5月5日、8月11日、1月12日、同26日、3月2日休止。

124 出演日は4月7日・5月12日・6月2日・9日・7月7日・14日・9月1日・8日・10月20日・11月3日（井口海仙が参加）・12月22日・1971年1月5日・3月16日・23日。上記および塩月弥栄子出演の6月23日・30日・8月4日・18日以外は井口海仙が出演。

125 出演日は6月23日・30日・8月4日・18日。

126 4月13日は再放送枠のみで放送。7月20日、8月10日休止。

127 出演日は4月6日～6月1日・22日・7月13日～8月3日・同24日～9月28日。それ以外は藪内紹春。上記のうち、4月6日・6月1日・9月14日・28日は共に出演。

-
- 128 10月26日は再放送枠のみで放送。2月1日休止。
- 129 10月5日出演。
- 130 10月5日・1972年1月4日出演。
- 131 1972年1月4日出演。
- 132 1972年2月29日出演。
- 133 1972年3月21日出演。
- 134 8月15日休止。
- 135 1月28日、3月18日休止。
- 136 1月7日・14日・2月25日・3月4日・25日に出演（うち3月25日は井口海仙が参加）。それ以外の日は井口海仙が出演。
- 137 7月4日出演。
- 138 7月4日出演。
- 139 9月26日出演。
- 140 1月30日、3月13日、同20日休止。4月1日火曜および4月2日水曜にも放送。
- 141 1月16日・23日、3月6日、27日、4月3日に出演。
- 142 1月16日、3月6日・13日・20日・27日、4月1日・2日・3日に出演。
- 143 8月4日休止。
- 144 7月3日出演。
- 145 7月3日出演。
- 146 9月25日出演。
- 147 3月31日水曜にも放送。
- 148 1月8日出演。
- 149 1月8日、3月31日、4月1日に出演。
- 150 4月1日出演。
- 151 4月29日、6月24日、8月12日、同19日、9月23日、同30日休止。
- 152 4月8日・15日、7月1日・15日、8月5日・26日、9月16日、10月7日に出演。
- 153 4月8日・22日、5月13日・27日、6月10日・17日、7月22日、9月2日・9日、10月7日に出演。
- 154 5月6日・20日、6月3日、7月8日・29日に出演。
- 155 7月22日出演。
- 156 12月30日休止。
- 157 10月14日、3月24日に出演。
- 158 10月14日、1月6日、3月24日に出演。
- 159 6月2日は午前10時35分ー11時4分に放送。
- 160 6月2日、7月7日・28日に出演。
- 161 12月29日、1月12日休止。2月2日は再放送枠のみで放送。
- 162 第3回は3月28日火曜に放送。
- 163 7月27日出演。
- 164 5月4日、7月27日に出演。

-
- 165 11月2日・9日に出演。
- 166 5月10日、6月28日、7月5日・12日・19日・26日に出演
- 167 5月10日・17日・24日・31日、6月7日・14日・21日、7月26日に出演
- 168 1月3日、同10日、同31日休止。
- 169 11月1日・15日・22日・29日、12月12日、1月17日・24日、2月7日に出演。
- 170 11月8日、12月20日・27日に出演。
- 171 12月6日出演。
- 172 10月7日休止。10月23日は、本放送枠で第3回、再放送枠で第4回を放送。
- 173 10月2日・23日(2回)・30日、11月6日・13日、12月4日・11日・18日・25日に出演。
- 174 10月16日出演。
- 175 11月20日・27日に出演。
- 176 5月7日、6月11日、7月30日に出演。
- 177 5月7日出演。
- 178 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 179 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 180 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 181 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 182 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 183 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 184 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 185 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 186 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 187 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 188 教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。
- 189 1月14日および1月28日は、教育テレビ再放送枠での放送が初回放送。